慣用句を きまりで 考えよう③

はじめて 見る ことばを 考えよう

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)〜(6)の ことばの 意味を、下の きまりを 手がかりに 考えよう。

ア〜ウは 意味の こうほです。ア〜ウから 1つずつ えらんで、右の □に 記号を 書こう。

この きまりは「だいたい 当てはまる」めやすです。

きまり

腕の ことばは「うでまえ・ぎじゅつ」の はなしが 多い

鼻の ことばは「自信・自慢・いばる」ようすの はなしが 多い

この プリントの ことばは、ぜんぶ きまりに 合う ことばです。

(1) 腕に 覚えが ある

ア うでに のこった きずあとを おぼえて いる

イ 自分の うでまえに 自信が ある

ウ 自分は えらいと 思って、いばって いる

□

(2) 腕に よりを かける

ア 自慢して、まわりの 人に いばって 見せる

イ うでに 糸を よりあわせて 太く する

ウ うでまえを 見せようと はりきって じゅんびを する

□

(3) 腕利き

ア しごとの うでまえが すぐれて いる 人

イ うでの ちからが とても 強い 人

ウ えらそうに いばって いる 人

□

(4) 腕自慢

ア 太い うでを 見せて 友だちを わらわせる こと

イ えらそうに いばって 人を 見下す こと

ウ 自分の うでまえを 人に ほこる こと

□

(5) 鼻持ちならない

ア はなの においが きつくて、がまん できない

イ えらそうで いやみな ようすが、見て いられない

ウ うでまえが わるくて、しごとが はかどらない

□

(6) 鼻っ柱が 強い

ア 気が 強くて、人に まけたがらない

イ ぎじゅつを みがいて、うまく なる

ウ はなの ほねが かたくて、おれにくい

□